

令和5年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		8-	6
事業名	ふれあいセンター経費	会計	款	項	目
施策	3 みんなが活躍できる地域共生社会をつくるために	一般	3	1	3
施策	3-2 地域福祉の推進	課名	地域福祉課		
		係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町民（施設利用者）	目的（対象がどのような状態になっているか）	地域福祉を推進する拠点施設であるふれあいセンターの適切な維持管理を行ない、町民の福祉増進及び福祉意識の高揚を図る。
事業内容	・地域に密着した各種福祉活動の拠点であるふれあいセンターの保守点検及び維持管理を行うとともに、公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づき、長寿命化を図るため、計画的な改修を実施する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）	
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
			令和4年度（決算）		令和5年度（決算）		令和6年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B			66,567		51,281		23,101		
財源内訳	直接事業費A		60,693		47,849		17,227		
	うち一般財源		52,247		35,873		7,353		
人件費（千円）B			5,874		3,432		5,874		
内訳	一般職員（人・千円）		0.89	5874	0.52	3432	0.89	5874	
	臨時職員（人・千円）		0	0	0	0	0	0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	Ⅲ 要改善（少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R5年度の改善計画	個別施設計画に基づき、財政負担を考慮しながら、計画的に施設改修を実施していく必要がある。R5年度は、エレベーター改修工事を実施する。	③取組の課題	平成6年の建設から27年が経過し、施設が老朽化していることから、改修に多大な費用が必要である。
②R5年度に実施した取り組み	経常的な維持管理を行うとともに、既存のエレベーターの経年劣化によるエレベーターの改修工事を実施した。また、福祉避難所として対応できるよう、令和6年度の自家発電機の設置に向け、庁舎とともに設計業務を実施した。	④今後の改善計画	個別施設計画に基づき、財政負担を考慮しながら、計画的に施設改修を実施していく必要がある。R6年度は、災害時に福祉避難所として活用することを視野に入れ、2階に幼児用トイレを設置する改修工事を実施する。